

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 585 号	氏名	宮元 敬天
学位審査委員		主 査	西田 孝洋
		副 査	黒田 直敬
		副 査	中嶋 幹郎
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、従来は系統的な情報が得られていなかった低体温療法時における薬物体内動態の変動要因を、様々な実験解析系を活用して解明しようとしたもので、研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本研究では、薬物の体内動態に重要な役割を果たしている肝臓内での薬物動態を、in vivo (全身)、in situ (肝灌流)、in vitro (肝細胞、肝ホモジネート) の実験系を用いて解析している。低体温あるいは低温時におけるマーカー化合物および鎮静薬ミダゾラムの薬物動態の変化について、適切な統計学的手法で解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、低体温時における血流量などの生理学的変化、薬物トランスポーターや薬物代謝酵素などの生化学的変化が薬物体内動態に影響することが示された。本研究結果は低体温療法時における薬物動態変化の予測に繋がる有益な基礎情報であると考えられる。低体温療法時における薬物投与設計への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は薬物動態を基礎にした臨床薬物治療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			